

各位

2025 年 9 月 2 日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
(コード：7318 東証グロース)**株式会社アベックスの工場増設**

～成長戦略をさらに推進、顧客ニーズに先行対応し市場シェアを拡大～

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO：竹内 在 以下、当社）のグループ会社である株式会社アベックス（本社：八王子市、代表取締役 本多 伸彦 以下、アベックス）は、2024 年 10 月より準備を進めていた新工場「Base5（ベースファイブ）」を、2025 年 9 月に増設することをお知らせします。

当社のグループ間シナジーによる販路拡大の成果もあり、アベックスの受注は順調に推移し、高付加価値・高利益率領域での増収増益を達成しています。今回の工場増設は、その受注拡大に対応する体制強化を目的とした先行投資です。

■ 事業拡大の背景と目的

アベックスは、自動車 OEM や Tier1 メーカーを中心に、試作開発・デザインサービスを提供しています。「PoC（Proof of Concept Service）※1」「試作開発サービスプロバイダー」という 2 つのコンセプトを掲げ、試作・開発領域におけるあらゆる試作品製造ニーズに応えてまいりました。

特に近年は、車載 HMI（Human Machine Interface）開発の検証で活用される、実車両改造サービス※2で高い評価を受けており、生産キャパシティの限界が課題となっていました。従来の「Base4」（床面積 39 m²）では対応が困難となったことから、総床面積 703 m²・車両開発スペース 475 m²を有する「Base5」を新設することで、以下のような大幅な拡張を実現しています。

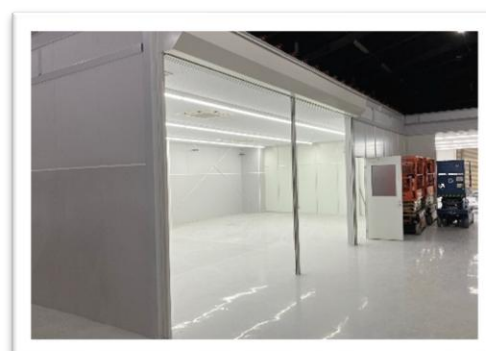
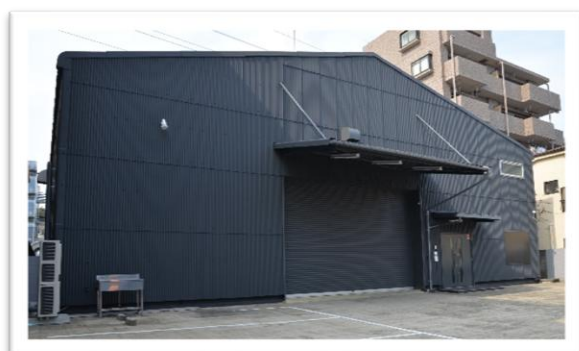
車両制作スペース：約 12 倍

総床面積：約 18 倍

最大収容車両数：約 3 倍

※1 アイデアや技術が実際に使えるかどうかを検証するための試作・実験のこと

※2 市販車両をカスタマイズし、次世代機能の実装・検証を行う試作車両を製作するサービスのこと



■ 新工場の概要と期待される効果

Base5 には、大型コンプレッサー、簡易塗装ブース、各種専用工具などの設備を導入し、多様な試作・車両改造ニーズに対応可能な環境を整備しております。作業スペースの大幅な拡張により、レイアウトの最適化による作業効率の向上、スタッフの工数運用の柔軟化、セキュリティレベルの強化が実現され、より安全かつ生産性の高い製造体制を構築しています。

今後、Base4 の機能は段階的に Base5 へ移管し、Base4 は注型・加工領域の設備強化に転用。既存事業の活性化も図ってまいります。

アペックスは今後も、車両開発・車載 HMI 開発における試作・開発サービスを通じて、持続可能なモビリティ社会の実現に貢献してまいります。

■ 会社概要

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本 社	愛知県名古屋市中区錦一丁目 5 番 11 号
設 立	2006 年 8 月
代表者	代表取締役社長兼 CEO 竹内 在
URL	https://www.serendip-c.com/
事業内容	経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

株式会社アペックス

本 社	東京都八王子市宇津木町 523-1
設 立	1975 年 4 月
代表者	代表取締役 本多 伸彦
URL	https://apex-tokyo.co.jp/
事業内容	開発段階における試作受託 デザインモックアップ / 試作品 / 3D モデリング / 機構設計 / 光学設計 / GUI・HMI 開発サポート / GUI シミュレーター / マルチメディア制作 / 映像制作 / 電子基板 / 電子制御 / MC 加工 / 3D プリンター / 二次処理 / 試作金型 / 注型

以上

【本件に関するお問合せ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社
IR 広報担当
E-mail: pr@serendip-c.com